

(株)三越伊勢丹ホールディングス（国内百貨店事業）売上確報（2021年1月）



2021年2月15日

国内百貨店事業 売上

店名	前年比	2020年度計
伊勢丹新宿本店 ※	74.6%	70.1%
三越日本橋本店 ※	71.5%	71.3%
三越銀座店	50.1%	48.0%
伊勢丹立川店	64.8%	71.1%
伊勢丹浦和店	71.8%	73.7%

※伊勢丹新宿本店 店頭売上前年比：71.4% 三越日本橋本店 店頭売上前年比：68.6%

※伊勢丹新宿本店売上には、法人外商事、EC事業及び一部の小型店舗の売上を含みます。

※三越日本橋本店売上には、小型店舗及び恵比寿三越の売上を含みます。

会社名	前年比	2020年度計
札幌丸井三越	62.2%	65.8%
函館丸井今井	68.6%	75.7%
仙台三越	76.1%	78.6%
新潟三越伊勢丹	59.8%	71.8%
静岡伊勢丹	74.5%	78.8%
名古屋三越	76.6%	77.7%
広島三越	80.8%	82.9%
高松三越	84.3%	80.4%
松山三越	27.2%	53.2%
岩田屋三越	71.1%	74.5%

	前年比	2020年度計
三越伊勢丹 計 (①)	69.4%	64.7%
三越伊勢丹 既存店計※ (②)	69.4%	67.3%

※2019年9月末日営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績除く

	前年比	2020年度計
国内グループ百貨店 計 (③)	69.4%	73.8%
国内グループ百貨店 既存店計※ (④)	72.9%	76.4%

※2020年3月22日営業終了した新潟三越の実績除く

	前年比	2020年度計
国内百貨店 計 (①+③)	69.4%	68.2%
国内百貨店 既存店計※ (②+④)	70.8%	70.9%

※2019年9月末日営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績と

2020年3月22日営業終了した新潟三越の実績除く

百貨店事業 商品別売上

単位：％（営業日数は日）

	伊勢丹新宿本店		三越日本橋本店		三越銀座店		3店計		三越伊勢丹計		国内百貨店計	
	1月	年度計	1月	年度計	1月	年度計	1月	年度計	1月	年度計	1月	年度計
紳士服・洋品	65.1	63.2	54.0	57.2	45.0	47.1	62.1	61.0	61.4	60.0	59.5	61.6
婦人服・洋品	61.6	58.8	55.3	57.8	44.4	46.7	57.5	56.7	56.2	54.5	56.7	59.1
子供服・洋品	61.9	65.9	87.0	80.2	28.2	35.9	62.6	64.2	62.5	62.9	61.4	67.1
呉服寝具他	63.1	69.5	54.3	52.6	52.7	44.2	59.9	62.6	66.4	61.9	67.3	66.7
衣料品計	63.1	61.3	57.1	59.4	43.8	45.7	59.5	58.9	58.8	57.3	58.4	60.7
身廻り品	69.7	65.6	79.1	73.7	49.8	49.8	67.4	63.9	68.1	63.0	69.3	67.1
雑 貨	86.5	72.7	82.0	68.1	43.7	38.5	74.5	63.0	75.7	62.7	76.8	66.4
家具インテリア	77.9	80.1	103.3	77.3	65.1	70.4	84.0	78.9	84.7	74.3	87.2	76.8
家 電	110.3	87.4	439.2	37.6	—	—	115.2	82.7	115.2	82.6	113.0	82.6
家庭用品	83.4	71.6	63.5	64.1	51.6	57.6	67.2	66.0	68.4	61.9	68.7	65.9
家庭用品計	84.8	76.8	70.5	66.3	52.8	59.0	74.0	70.7	74.9	66.6	74.6	69.6
食 料 品	102.6	93.0	80.5	84.1	71.0	63.9	89.8	84.5	88.2	80.0	83.5	80.7
食堂・喫茶	46.8	47.4	44.0	43.9	48.1	55.7	46.3	46.7	49.0	44.8	49.2	47.4
サービス	64.7	75.7	31.1	28.8	44.6	57.0	56.0	61.4	59.1	60.3	62.0	62.7
その他	70.6	87.1	78.8	73.6	80.2	67.2	77.0	76.4	77.6	75.9	79.4	80.6
合 計	74.6	70.1	71.5	71.3	50.1	48.0	69.5	66.6	69.4	64.7	69.4	68.2
営業日数	30	251	30	251	30	251	—	—	—	—	—	—

1月概況

- 緊急事態宣言が再発出された地域の店舗を中心に、外出自粛要請の高まりや営業時間の短縮によって入店客数は伸び悩み、国内百貨店（既存店計）の売上は前年売上を下回った。一方で、ロイヤリティの高い顧客が多い大都市圏の店舗では、客単価が前年を上回る店舗もあった。
- 伊勢丹新宿本店と三越日本橋本店では、買い物の目的が明確な日本人顧客による高付加価値商品への関心が引き続き高く、宝飾・時計や婦人カテゴリーのラグジュアリーブランドのハンドバッグ・靴・財布・アクセサリが好調。オンライン売上は、前年比約2倍と12月よりも伸長率が高く、特に店頭でも人気の高いチョコレートイベント「サロン・デュ・ショコラ」や「バレンタイン」特集の反響が大きかった。

2月足元概況

- 14日までの店頭売上累計はコロナウイルスによる客数マイナスが続いている事に加え緊急事態宣言の再発出に伴う時短営業も影響し、首都圏三越伊勢丹（既存店）89.5%、国内百貨店（既存店計）90.8%となった。

お問い合わせ先

【三越伊勢丹ホールディングス IR担当】TEL：080-1154-4464／090-8593-0515
 【三越伊勢丹ホールディングス 広報担当】TEL：03-6730-5003